# 山形県西川町　デジタル田園都市国家構想交付金・新しい地方経済・生活環境創生交付金・地域未来交付金　実施状況及び効果検証

（単位：円）

## 【事業名：交流・関係人口拡大からの移住・移転の推進事業～子育て世代に移住先として選ばれる地域を目指して全力疾走‼～】

| 所管課 | タイプ名 | 事業期間 | 事業（実施計画書） | | 実施主体 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 事業開始年月 | 事業完了年月 | 効果検証結果<br>（KPI達成状況に応じた今後の対応等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 概要 | 実施内容 | | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | | | | | |
| つなぐ課 | 地方創生推進タイプ | 令和5年度 | 【首都圏への情報発信・関係人口をつなぐ拠点構想】<br>首都圏から西川町への人の流れをつくるための取組みの初年度として、準備を進めると共に、各事業が連携して始業執行されるよう情報共有を徹底する。 | 1. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏へのアンテナショップ出店（試行）委託料<br>②首都圏における協力者との情報発信・物販交流事業<br>・連携する商店街や企業、大学との情報発信・物販交流（委託料）<br>・パートナーシップ飲食店のパンフレット作成、町協力者への名刺配布（印刷費）<br>③関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出促進委託料<br><br>2.「交流人口から関係人口へ」子育て目線等からの契機づくり事業<br>①異地域留学等の受入<br>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケションプログラム）（委託料）<br>・小中学校の農村体験受け入れ（サテライトスクール）（委託料）➡2年目から実施<br>②課題解決型イノベーションに向けた交流事業<br>・関係人口と住民が地域課題の解決を通じてローカルビジネスを創出（委託料）<br>③関係人口創出の先進事例視察研修事業（委託料<br>※個人に対する給付は含んでいない<br><br>3－1. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①暮らし体験住宅の提供<br>・空き家を活用した暮し体験住宅の提供（需用費、役務費、賃借料）<br>・キャンピングカーを用いた町内移動型の暮し体験住宅の提供（賃借料）<br>②町内の空き家、空地の利用促進事業<br>・町内の不動産の管理、紹介体制の構築（報償費、招聘旅費）<br>③移住支援コンシェルジュ育成・派遣事業（委託料）<br>④移住支援制度のプロモーション事業<br>・移住情報発信イベント（Web配信）実施、Web広告掲載等への掲載（委託料、手数料）<br><br>4. 選ばれる地域へ！ 定住後の支援体制構築事業<br>①特色のある学校づくり<br>・子どもの国際感覚を育む英語教育と国際交流（台湾）事業、ネイティブスピーカー派遣（委託料）<br>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進事業（委託料）<br>・規格外の食材を活用した地域内の自給率向上に向けた事業（委託料、需用費）<br>②学校・地域サポートバンク創設事業<br>・移住者の孤立防止のため、行政、学校、地域によるサポーターズバンクの設立（委託料）<br>・保育園、小学校、中学校及び地域のつながるネットワーク構築・運用（委託料）<br>※個人に対する給付は含んでいない | 西川ファン創出推進協議会 | ①本事業による移住体験者数 | 人 | 10.00 | 34.00 | 67,862,000 | 33,906,966 | 令和5年4月 | 令和6年3月 | 3－2. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①移住までの伴走支援として、町内の新たな空き家を移住に興味をもつ方へ「暮らし体験住宅」として提供するにあたり、生活に必要な家電、家具を購入し、気軽に暮らし体験できる状況を整備する。<br>KPI①として設定する「移住体験者数」の向上に寄与する。 |
| | | | | | | ②関係人口者数 | 人 | 10.00 | 25.00 | | | | | |
| | | | | | | ③生産年齢人口の減少抑制数（前年度の減少数を抑制した人数） | 人 | 16.00 | 37.00 | | | | | |
| | | | | | | ④移住者数 | 人 | 5.00 | 15.00 | | | | | |

| 所管課 | タイプ名 | 事業期間 | 事業（実施計画書） | | 実施主体 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 事業開始年月 | 事業完了年月 | 効果検証結果<br>（KPI達成状況に応じた今後の対応等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 概要 | 実施内容 | | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | | | | | |
| つなぐ課 | 地方創生推進タイプ | 令和6年度 | 【事業の実施と検証】<br>首都圏への情報発信の拠点を整備し、本格的な人の流れをつくり出す。各関連事業において前年実施の事業結果を検証し、事業の目的達成のため対象者のニーズを把握し適切に事業へ反映させる。 | 1－1. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏へのアンテナショップ出店・運営委託料<br>②首都圏における協力者との情報発信・物販交流事業<br>・連携する商店街や企業、大学との情報発信・物販交流（委託料）<br>・パートナーシップ飲食店のパンフレット作成、町協力者への名刺配布（印刷費）<br>③関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出促進委託料<br><br>2.「交流人口から関係人口へ」子育て目線等からの契機づくり事業<br>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケションプログラム）（委託料）<br>・小中学校の農村体験受け入れ（サテライトスクール）（委託料）<br>②課題解決型イノベーションに向けた交流事業<br>・関係人口と住民が地域課題の解決を通じてローカルビジネスを創出（委託料）<br>③関係人口創出の先進事例視察研修事業（委託料）<br><br>3－1. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①暮らし体験住宅の提供<br>・空き家を活用した暮し体験住宅の提供（需用費、役務費、賃借料）<br>・キャンピングカーを用いた町内移動型の暮し体験住宅の提供（賃借料）<br>②町内の空き家、空地の利用促進事業<br>・町内の不動産の管理、紹介体制の運営（報償費、招聘旅費）<br>③移住支援コンシェルジュ育成・派遣事業（委託料）<br>④移住支援制度のプロモーション事業<br>・移住情報発信イベント（Web配信）実施、Web広告掲載、情報雑誌等への掲載（委託料、手数料）<br><br>4. 選ばれる地域へ！ 定住後の支援体制構築事業<br>・子どもの国際感覚を育む英語教育と国際交流（台湾）事業、ネイティブスピーカー派遣（委託料）<br>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進事業（委託料）<br>・規格外の食材を活用した地域内の自給率向上に向けた事業（委託料、需用費）<br>②学校・地域サポートバンク創設事業<br>・移住者の孤立防止のため、行政、学校、地域によるサポーターズバンクの設立（委託料）<br>・保育園、小学校、中学校及び地域のつながるネットワーク構築・運用（委託料）<br>※個人に対する給付は含んでいない | 西川ファン創出推進協議会 | ①本事業による移住体験者数 | 人 | 15.00 | 63.00 | 116,966,000 | 58,483,000 | 令和6年4月 | 令和7年3月 | 1－2. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏から西川町への人の流れをつくるため、交流人口、関係人口の拡大・拡充の拠点として整備する。<br>KPI②として設定する「関係人口者数」の向上に寄与する。<br><br>3－2. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①移住までの伴走支援として、町内の新たな空き家を移住に興味をもつ方へ「暮らし体験住宅」として提供するにあたり、生活に必要な家電、家具を購入し、気軽に暮らし体験できる状況を整備する。<br>KPI①として設定する「移住体験者数」の向上に寄与する。 |
| | | | | | | ②関係人口者数 | 人 | 15.00 | 33.00 | | | | | |
| | | | | | | ③生産年齢人口の減少抑制数（前年度の減少数を抑制した人数） | 人 | 16.00 | 12.00 | | | | | |
| | | | | | | ④移住者数 | 人 | 10.00 | 20.00 | | | | | |

| 所管課 | タイプ名 | 事業期間 | 事業（実施計画書） | | 実施主体 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 事業開始年月 | 事業完了年月 | 効果検証結果<br>（KPI達成状況に応じた今後の対応等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 概要 | 実施内容 | | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | | | | | |
| つなぐ課 | 第2世代交付金 | 令和7年度 | 【事業の再点検と自走に向けた準備】<br>東京圏から交流人口・関係人口の流入について「見える化」による分析を行い、各事業の再点検を実施する。また、移住体験（保育園留学、農村体験学校、暮らし体験住宅の利用）実績についても制度や体制面の充実を図る。 | 1. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏へのアンテナショップ運営委託料<br>②首都圏における協力者との情報発信・物販交流事業<br>・連携する商店街や企業、大学との情報発信・物販交流<br>・パートナーシップ飲食店のパンフレット作成、町協力者への名刺配布<br>③関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出促進委託料<br><br>2.「交流人口から関係人口へ」子育て目線等からの契機づくり事業<br>①異地域留学等の受入<br>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケションプログラム）<br>・小中学校の農村体験受け入れ（サテライトスクール）<br>②課題解決型イノベーションに向けた交流事業<br>・関係人口と住民が地域課題の解決を通じてローカルビジネスを創出<br>③関係人口創出の先進事例視察研修事業<br><br>3－1. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①暮らし体験住宅の提供<br>・空き家を活用した暮し体験住宅の提供<br>・キャンピングカーを用いた町内移動型の暮し体験住宅の提供<br>②町内の空き家、空地の利用促進事業<br>・町内の不動産の管理、紹介体制の運営<br>③移住支援コンシェルジュ育成・派遣事業<br>④移住支援制度のプロモーション事業<br>・移住情報発信イベント（Web配信）実施、Web広告掲載、情報雑誌等への掲載<br>4. 選ばれる地域へ！ 定住後の支援体制構築事業<br>①特色のある学校づくり<br>・子どもの国際感覚を育む英語教育と国際交流（台湾）事業、ネイティブスピーカー派遣<br>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進事業<br>・規格外の食材を活用した地域内の自給率向上に向けた事業<br>②学校・地域サポートバンク運営事業<br>・移住者の孤立防止のため、行政、学校、地域によるサポーターズバンクの運営<br>・保育園、小学校、中学校及び地域のつながるネットワーク構築・運用 | 西川町 | ①本事業による移住体験者数 | 人 | 30.00 | | 77,883,682 | 38,941,840 | 令和6年4月 | 令和7年3月 | これまで2カ年において事業を実施してきて、KPI①の移住体験者数は、保育園留学やサテライトスクールの需要が高いことによって、大きく達成している。一方で、KPI③の生産年齢人口の抑制はマイナスに転じている。<br>第三者評価機関である「にしかわ創生会議」において、本事業内容について以下のとおり指摘を受けている。<br>・保育園留学の利用者は、首都圏に多いことから、首都圏向けのPRを増やしてはどうか。<br>・保育園留学の利用者は、小学校進学後も西川町での留学を希望するケースもあると聞いているため、その受入環境を整えるべきだと考える。<br>・保育園留学の需要が高い状況であれば、保育園留学の受け入れ拡充を図るべきではないか。併せて移住コンシェルジュの拡充も必要だと考える。<br>・移住を希望される子育て世代の方は、教育環境にも重きをおくため、特色のある西川町らしい教育が必要である。姉妹校締結を行っている台湾の小学校との相互交流を図り、子どものうちから国際交流を身近に感じられる特別な体験を行ってはどうか。また、外を知ることが郷土愛の創出にもつながるのではないか。<br>これを踏まえて、生産年齢人口の移住者を獲得していくために重要な入り口として、下記を達成していく。<br>❶首都圏へのPRや、保育園留学等の既存のニーズの高い施策を増やしていくこと<br>❷移住者を定住者としていくためには、特色のある学校、教育づくりが必要不可欠<br>❸現在2年目で達成しているKPIを増やし、さらなる関係人口及び移住人口の拡大に努めていく<br>　移住コンシェルジュや保育園留学の拡充及び小学校留学の新規実施、特色のある教育環境、西川町ならではの子育て施策の拡大を図るため増額申請を行います。増額申請に伴い、すべてのKPIを増額しております。 |
| | | | | | | ②関係人口者数 | 人 | 25.00 | | | | | | |
| | | | | | | ③生産年齢人口の減少抑制数（前年度の減少数を抑制した人数） | 人 | 18.00 | | | | | | |
| | | | | | | ④移住者数 | 人 | 20.00 | | | | | | |

| 所管課 | タイプ名 | 事業期間 | 事業（実施計画書） | | 実施主体 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | 交付対象事業費<br>※予定 | 交付金充当額<br>※予定 | 事業開始年月 | 事業完了年月 | 効果検証結果<br>（KPI達成状況に応じた今後の対応等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 概要 | 実施内容 | | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | | | | | |
| つなぐ課 | 地域未来推進型 | 令和8年度 | 【事業の高度化と自走を見据えた運用】<br>交流人口・関係人口から移住人口への伴走支援の強化を図るとともに、事業の自走化に向けた行政や地域の役割を再確認し、円滑かつ効率の良い地域住民を巻き込んだ連携体制の充実を図る。また、地域課題解決のためのスタートアッププロジェクトの成果を取りまとめ、地域からのヒアリングを行う。 | 1. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏へのアンテナショップ運営委託料<br>②首都圏における協力者との情報発信・物販交流事業<br>・連携する商店街や企業、大学との情報発信・物販交流<br>・パートナーシップ飲食店のパンフレット作成、町協力者への名刺配布<br>③関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出促進委託料<br><br>2.「交流人口から関係人口へ」子育て目線等からの契機づくり事業<br>①異地域留学等の受入<br>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケションプログラム）<br>・小中学校の農村体験受け入れ（サテライトスクール）<br>②課題解決型イノベーションに向けた交流事業<br>・関係人口と住民が地域課題の解決を通じてローカルビジネスを創出<br>③関係人口創出の先進事例視察研修事業<br><br>3－1. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①暮らし体験住宅の提供<br>・空き家を活用した暮し体験住宅の提供<br>・キャンピングカーを用いた町内移動型の暮し体験住宅の提供<br>②町内の空き家、空地の利用促進事業<br>・町内の不動産の管理、紹介体制の運営<br>③移住支援コンシェルジュ育成・派遣事業<br>④移住支援制度のプロモーション事業<br>・移住情報発信イベント（Web配信）実施、Web広告掲載、情報雑誌等への掲載<br><br>4. 選ばれる地域へ！ 定住後の支援体制構築事業<br>①特色のある学校づくり<br>・子どもの国際感覚を育む英語教育と国際交流（台湾）事業、ネイティブスピーカー派遣<br>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進事業<br>・規格外の食材を活用した地域内の自給率向上に向けた事業<br>②学校・地域サポートバンク運営事業<br>・移住者の孤立防止のため、行政、学校、地域によるサポーターズバンクの運営<br>・保育園、小学校、中学校及び地域のつながるネットワーク構築・運用 | 西川町 | ①本事業による移住体験者数 | 人 | 35.00 | | 51,966,000 | 25,983,000 | | | |
| | | | | | | ②関係人口者数 | 人 | 30.00 | | | | | | |
| | | | | | | ③生産年齢人口の減少抑制数（前年度の減少数を抑制した人数） | 人 | 19.00 | | | | | | |
| | | | | | | ④移住者数 | 人 | 25.00 | | | | | | |

| 所管課 | タイプ名 | 事業期間 | 事業（実施計画書） | | 実施主体 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | 交付対象事業費<br>※予定 | 交付金充当額<br>※予定 | 事業開始年月 | 事業完了年月 | 効果検証結果<br>（KPI達成状況に応じた今後の対応等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 概要 | 実施内容 | | 項目 | 単位 | 目標値 | 実績値 | | | | | |
| つなぐ課 | 地域未来推進型 | 令和9年度 | 【事業の最大化と自走に向けた加速化】<br>本事業により実施した「東京圏から西川町への人の流れづくり」を持続可能な取り組みとして最大化し、西川町の移住定住政策のスタンダードをつくる。移住施策についても、地域や企業を巻き込み連携・共創の体制を確立する。 | 1. 首都圏から西川町に「人の流れをつくる」事業<br>①首都圏へのアンテナショップ運営委託料<br>②首都圏における協力者との情報発信・物販交流事業<br>・連携する商店街や企業、大学との情報発信・物販交流<br>・パートナーシップ飲食店のパンフレット作成、町協力者への名刺配布（印刷費）<br>③関係人口の「見える化」による交流・関係人口創出促進委託料<br><br>2.「交流人口から関係人口へ」子育て目線等からの契機づくり事業<br>①異地域留学等の受入<br>・保育園留学（子どもを主役にしたワーケションプログラム）<br>・小中学校の農村体験受け入れ（サテライトスクール）<br>②課題解決型イノベーションに向けた交流事業<br>・関係人口と住民が地域課題の解決を通じてローカルビジネスを創出<br>③関係人口創出の先進事例視察研修事業<br>※個人に対する給付は含んでいない<br><br>3－1. 移住体験（二地域居住体験）の推進・支援事業<br>①暮らし体験住宅の提供<br>・空き家を活用した暮し体験住宅の提供<br>・キャンピングカーを用いた町内移動型の暮し体験住宅の提供<br>②町内の空き家、空地の利用促進事業<br>・町内の不動産の管理、紹介体制の運営<br>③移住支援コンシェルジュ育成・派遣事業<br>④移住支援制度のプロモーション事業<br>・移住情報発信イベント（Web配信）実施、Web広告掲載、情報雑誌等への掲載<br><br>4. 選ばれる地域へ！ 定住後の支援体制構築事業<br>①特色のある学校づくり<br>・子どもの国際感覚を育む英語教育と国際交流（台湾）事業、ネイティブスピーカー派遣<br>・農業体験や生産者との交流を通じた地産地消、食育の推進事業<br>・規格外の食材を活用した地域内の自給率向上に向けた事業<br>②学校・地域サポートバンク運営事業<br>・移住者の孤立防止のため、行政、学校、地域によるサポーターズバンクの運営<br>・保育園、小学校、中学校及び地域のつながるネットワーク構築・運用<br>※個人に対する給付は含んでいない | 西川町 | ①本事業による移住体験者数 | 人 | 40.00 | | 51,966,000 | 25,983,000 | | | |
| | | | | | | ②関係人口者数 | 人 | 35.00 | | | | | | |
| | | | | | | ③生産年齢人口の減少抑制数（前年度の減少数を抑制した人数） | 人 | 20.00 | | | | | | |
| | | | | | | ④移住者数 | 人 | 30.00 | | | | | | |